

滋賀県議会議員

Kunori Manabu Report

令和5年
年末号
VOL.53

くらしのご相談やご意見など
ございましたらお気軽に

FB(フェイスブック)
日々更新中
kunori-try.jp

くのり学事務所へ



TEL077-558-1809/FAX077-558-0665

九里学レポート

(事務所・自宅) 〒520-3001 滋賀県栗東市東坂409-3 ☎8313@kunori-try.jp <発行責任者/九里 学>編集責任者/米津 進



くくりンで身近な
ひらかれた県政のために

地道に!!

颯爽と!!

『日日是好日』

今年一年、多くの皆様のお支えのお陰様で過ごすことができ、心から感謝致します。ありがとうございます。

「いま、ここ、自己」を見つめ、この一瞬をかけがえない時間として大事にし、新鮮な気持ちで自分の生き方に手を抜かず、来たるべき年も丁寧に『好日』を過ごそうと思います。令和五年 年の瀬にあたり

くのり まなぶ
滋賀県議会議員 九里 学

九里学 11月~12月上旬 くのり学 レポート



以前担当をしていた「第47回栗東市美術展」で秀作を観覧する。(11/3・ささら)



大橋自治会ふれあい広場で恩師と。(11/5)



JA 田舎の元気や農業祭で20年来的支援者の方々と (11/19)



文化協会の華道展と芸能まつりで旧友と共に (11/12・ささら)

市民と一緒に生の声を聴き実現する



治田学区ふれあい広場で健康推進員さんと (11/12・治田小)



チャリティ大玉ワザコンテストで小学生と交流 (11/19・大玉小)



葉山東学区ふれあいまつりでスポーツ吹矢を体験させていただく (11/15・葉山東小)



治田東学区民まつりで子ども食堂の大切さを学ぶ (11/19・コミセン治田東)



子どもとじゃかんづくりについて学ぶ。(11/23・大津市 県立図書館)

もっと魅力ある都市公園づくりに奔走 (11/23・大津 びわこ文化公園)



特別国体かごしまの報告会・受賞式に参列 (ラグビーフットボール役員の皆様と共に) スポーツ振興 (11/21・びわ湖大津プリンスホテル)



<JRA馬のまち 栗東ならではの労務>馬運業界の現状を若手ドライバーさんから聞きとりする (11/3・金勝学区)

県外 政務・行政調査

滋賀をCM

常任委員会でアスリートの発掘・育成・強化策を学ぶ (11/9・東京板橋区ハイパフォーマンススポーツセンター)

東京日本橋にある「ここ滋賀」で政務調査する (11/18)

常任委員会でこれからの文化財の活用方法を学ぶ (11/9・東京上野国立博物館)

教育・文化スポーツ常任委員会 県外調査にて「くまマラソン」の成功事例を学ぶ (11/9・群馬県庁)

関西広域連合11月臨時議会で万博や文化政策について審議する (11/17・大阪府立国際会議場)

街中、駅、高速SA等にピアノを設置し、もっと音楽溢れる県にしたい (前橋駅)

SDGs 地球温暖化への環境対策を学ぶ 小中学校の脱炭素化の可視化の先行事例を学ぶ (11/17・神奈川県鎌倉市役所)



フォレストマーケットin成谷「森のある暮らし」で子育て課題を聴く (11/3・荒瀬)



栗東国際交流協会 ~世界と出会う交流広場~で観光振興を研究 (11/3・ささらシンボル広場)



JR 栗東、手原、守山、草津の各駅や交差点の朝の県政報告も17年目を迎える (11/19・荒瀬)



今秋も母校栗東高等学校美術科の後輩の27期生を激励し卒業制作展を訪ねる (11/19・ささら)



県の山手幹線道路や橋梁の工事進捗状況を定期的に現場へ見まわす (11月~12月)

【就職】 関西広域連合議会議員(滋賀県代表)・教育・文化スポーツ常任委員会委員・行財政・防災危機管理対策特別委員会委員・チーム滋賀県議団副代表・滋賀県ラグビーフットボール協会副会長・栗東市卓球協会会長・滋賀県スポーツ振興議員連盟副代表・滋賀県障害児者と父母の会連合会特別会員・栗東柔道スポーツ少年団育成会名誉会長・栗東音楽振興会(RISS)顧問・栗東消費生活研究会会員 他 元気に進行中!!

くのり学

教育 環境

滋賀県議会 11 月定例会本議会で三日月知事・福永教育長・浅見総合企画部長に九里学質す



令和 5 年 12 月 7 日登壇

【以下 Q は九里質問 A は県側答弁】

図書館行政の充実と運営改善について九里学質す

Q…本県図書館行政の現状と課題、目指すべき方向性と組織編成等について知事の所見を伺います。**A**…少子高齢化の進行や人口減少社会の到来、電子書籍等の普及等により、図書館を取り巻く社会環境は大きく変化しております。県立図書館も貸出冊数や来館者数が減少している状況がございます。

図書館の役割である『住民の知る権利』を保障するためには、多様化する要求に応える資料の充実を図りますとともに、住民にとって身近で使いやすい図書館とするかが課題だと考えております。

来年度、設置を検討しております『(仮称)子ども読書支援センター』におきましては、これまでの図書館サービスが及ばなかった子どもたちにサービスを広げるアウトリーチ活動やデジタル技術の活用等、非来館型サービスの提供なども考えています。

多様な知見を集め、部局を超えた連携が必要だと考え、市町の図書館などのネットワークを充実させていきたいと考えております。効果的な組織のあり方については、議員のご提案も含め議論してまいります。

Q…県立図書館の現状と課題について知事の见解を伺います。**A**…県立図書館は、「県民は、どこに住んでいても、誰でも、図書館を通じて必要な資料・情報を手にすることができる」ことを目指す姿と致し、取組を進めてきました。

議員から指摘いただいたように、ハード・ソフト両面で課題があることは十分認識しており、まずは子どもや障害のある方など、これまで図書館サービスが届きにくかった人々へのサービス等について、段階的に進めるとともに、それ以外の課題についても前向きに検討を進めてまいりたいと存じます。

Q…専門職図書館司書の役割を活かすための方策について教育長に伺います。**A**…図書館司書の役割を活かすための方策について、司書の役割は資料を選定・整備し、その資料と人を結びつける手助けをすることです。

ただ、時代とともに社会情勢も変わり、県民のニーズも変化いたし、そうした変化に対応するためには、議員ご指摘のような多様な課題に対応した研

鑽が必要であると認識しており、他の図書館などと人事交流を含めました研修のあり方についても随時見直してまいりたいと考えております。

Q…県立図書館運営改善に向けての具体的対策について教育長に伺います。**A**…「こども としょかん」等の動きを受けまして、図書館行政や県立図書館に対する県民の皆様の注目が集まっていることは、かつてない『好機』であると考えています。

「これからの滋賀県立図書館のあり方」行動計画に基づき取組を進めていますが、県教育委員会としても『県民にとって快適な図書館であるのか』また『県民のニーズや時代の変化に対応しているのか』という観点に立ち、他県の県立図書館のいい事例などを取り入れ具体的な運営改善に向けて進めて参りたいと考えております。

Q…県立図書館における専門的職務以外の役割について教育長に伺います。**A**…他県の県立図書館をいくつか見させていただいておりますと、「2つ観点」があります。1つが、様々な人の居場所としての図書館の役割を今一度考え直してはどうかという点と、もう1点は多様な活動場所を提供することによって、本とか読書にあまり興味を持っておられなかった方が、そういった活動場所に参加することとあわせて、本、読書に興味を持つ場をつくるということがあるのではないかと考えております。

これを実現するためには課題も含め、今、九里議員がおっしゃられた専門的な司書とプラスアルファ司書以外の方の知見も入れながらどういった取組をしていくのか、図書館のメンバーとしっかりと考えていく課題と認識致しております。

Q…「知の拠点づくり」「地域創生・地域再生」の切り札としての図書館行政充実への知事の決意を伺います。**A**…県立図書館の役割は、「知の拠点」として、市町の図書館とのネットワークを通して、県民に必要な資料や情報を提供することにあると私自身考えております。

県民の多様化するニーズに応え、地域の情報の『ハブ』としての役割を果たしていくべきと考えています。

図書館行政を充実させていくことが「地域創生・地域再生」の切り札となり、図書館がより良き自治の拠点として、地域が抱える諸課題の解決にも資することができるよう、市町とともに取組を進めてまいりたいと存じます。

県施設の断熱化とクライメートクロックについて九里学質す

Q…温室効果ガス排出量が何パーセントに削減され、どのような課題が浮き彫りとなっていると知事は認識しているか伺います。**A**…直近データである 2020 年度の温室効果ガス排出量は 2013 年度比で 26% 削減されており、目標に対する進捗率では 52% で、2030 年度の目標に向け、削減は進んでいるものと評価しております。しかし部門別にみますと、家庭部門における温室効果ガスの削減は、進捗率が 38% にとどまっております。家庭における省エネ化や再エネの導入に対する支援だけでなく、CO₂ ネットゼロの実現を「自分ごと化」し、行動変容につなげるための更なる工夫が必要であると認識しております。**Q**…クライメートクロックの例のように、温室効果ガス排出量や削減率、気温上昇率など『県民への可視化』を図ることの重要性の知事の见解は。**A**…『県民への可視化』の重要性についてでございます。

議員ご紹介のクライメートクロックは、気温が 1.5 度上昇するまでに残された時間を「見える化」することで、気候変動の危機を訴えるための取組の一つであり、地球温暖化対策への県民への関心を持つきっかけになるものと承知しております。

本県では、昨年度、CO₂ ネットゼロのポータルサイト「ゼロナビしが」を立ち上げ、SNS なども活用し、地球温暖化による影響などを随時発信しているところです。

議員ご指摘のとおり、県民の皆さまへ地球温暖化の現状を伝え、考えていただくことは、「自分ごと化」から「主体的な行動」へのきっかけとなりますことから、「ゼロナビしが」等をより活用し、『現状の可視化』を更にすすめてまいりたいと存じます。

Q…県の施設における『断熱』に向けた目指すべき方向性と具体的な施策を総合企画部長に伺います。**A**…県庁自らが環境に配慮した行動を率先して取り組むため、令和 3 年度に『CO₂ ネットゼロに向けた県庁率先行動計画』を策定したところです。CO₂ ネットゼロに向け、施設の大幅な省エネにつながる「断熱化」については大変重要な取組であり、施設の設

地球温暖化対策や県民の読解力向上について問題提起

計段階からの検討が必要であると認識しております。

県有施設を『新築・更新』する場合は、法律、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律に基づく標準的な仕様を採用した場合のエネルギー消費量に対し、50% 以上の削減に適合した『ZEB Ready』以上を原則としています。

現在、新築・更新を予定しています県立高等専門学校、琵琶湖文化館、衛生科学センターなどの施設で『ZEB Ready』を前提とした検討を進めていますが、今後も『断熱』を視野に県施設施工を進めてまいります。

Q…温室効果ガス排出量削減の取組について、スピード感をもって進めるための知事の決意について伺います。**A**…温室効果ガス排出量削減の取組についての決意について、地球温暖化による気候変動への対応は、私たち一人ひとりにとって避けることができない喫緊の課題であり、その克服に向けては、県民や事業者、各種団体、市町など様々な主体と連携しながら、総ぐるみで取組を進めていくことが肝要であると認識しております。

幸いにも本県は、琵琶湖の環境保全などで培ってきた高い環境意識と行動力、県内に集積する製造業の技術力や大学等の知的資源など、有形無形の様々な資源が存在しています。

本県の強みを活かしながら、「CO₂ ネットゼロ社会づくり」に果敢に挑戦し、より豊かな滋賀を次の世代に引き継いでいくため、規制緩和・規制強化なども含めて、どういった工夫ができるのか検討し、温室効果ガス排出量削減に向けた取組を、九里議員のご指摘通りスピード感をもって実施してまいります決意です。

※クライメートクロック…気候時計のこと

※ ZEB Ready …高断熱化・高効率な省エネルギー設備を備えた建築物のこと